

事務事業マネジメントシート(平成28年度実績と平成29年度計画)

平成29年 8月23日更新

事務事業名	市民センター維持管理事業				<input type="checkbox"/> マニフェスト関連 <input type="checkbox"/> 全庁横断課題関連 <input type="checkbox"/> 集中改革プラン関連			
総合計画	政策	3	教育の健康	所属部	教育委員会事務局教育部	課長名	北里利朗	
体系	施策	10	生涯学習の推進	所属課	生涯学習課	担当者名	森田由貴恵	
	施策の柱	39	生涯学習施設(環境)の整備	所属班	生涯学習班	(内線)	1513	
予算科目	会計一般	款10	項5	目3	事業連番10827	根拠法令	合志市民センター条例	
終了、開始年度	<input type="checkbox"/> 28年度で終了 <input type="checkbox"/> 28年度から開始				事業期間	<input type="checkbox"/> 単年度のみ <input checked="" type="checkbox"/> 単年度繰返(開始年度 18 年度) <input type="checkbox"/> 期間限定複数年度 ( ~ 年度)		
							成果優先度評価結果	: ⑥
							コスト削減優先度評価結果	: ⑤

★事務事業の概要(PLAN)

【事業の内容】	施設利用者が各市民センター(御代志・黒石・須屋・泉ヶ丘)及び野々島公民館を快適に利用できるように維持管理を行う。施設の多くは、経年劣化が進んでいる。については、中長期計画に基づき改修を行う必要がある。また、黒石市民センター、野々島公民館においては築40年を経過して、建物全体の腐食が激しく耐震対策も必要であるため、計画に基づき建替えを検討していく。更には、維持管理・運営について指定管理制度等も検討していく。 平成28年度は熊本地震被害のため、御代志市民センター講堂の天井の修繕をおこなった 平成28年11月～野々島公民館解体(野々島防災センター建築のため) 平成29年度 野々島防災センター建築予定
【業務の流れ】	①消耗品補給、蛍光灯・電灯交換、ホワイトボードマーカー等消耗品補充 ②保守管理(コピー機、自家発電、消防用設備、貯水槽、空調、券売機、清掃業務等) ③施設の修繕・工事 ④避難所用品の備蓄 ⑤管理人の配置
【主な予算費目】	報酬、需用費(消耗品費、光熱水費、修繕費、施設修繕費)、役員費、委託料、使用料及び賃借料、工事請負費、備品購入費
【意見や要望】	市民が快適に利用できるよう、老朽化施設については早急な改修及び建替えが求められている。

1 現状把握の部(DO, PLAN)

(1) 事務事業の目的と指標		新規・拡充区分:
① 手段(主な活動) 28年度実績(28年度に行った主な活動)(DO)	空調機械保守点検業務委託、清掃管理業務委託、施設予約端末保守業務委託、券売機保守業務委託、自家発電設備保守点検委託、電気工作物保守点検業務委託、建築設備定期検査業務委託、特殊建築物検査業務委託、昇降機保守点検業務、自動ドア保守点検業務委託、貯水槽保守点検業務委託、機械警備業務委託、来客用マトリクス、シュレッダーリース、券売機リース、消防用設備修繕、照明盤改修工事(第3期)、冷水機設置工事、御代志市民センター講堂舞台幕修繕	29年度計画(次年度に計画している主な活動)(PLAN)
① 活動指標(事務事業の活動量を表す指標)	ア: 市民センター維持管理事業にかかる経費	予算の主な増減の理由 前年度は当初予算に野々島防災センター設計委託料が計上されており、補正により総務課予算に計上された。 今年度野々島防災センター工事費は当初予算に計上されていないため、減額となっている
② 対象(誰、何を対象にしているのか) *人や自然資源等	市民、市外からの通勤・通学者	② 対象指標(対象の大きさを表す指標) (単位) ア: 利用者 人
③ 意図(この事業によって、対象をどう変えるのか)	生涯にわたって目標・目的を持って学習を行なっている	③ 成果指標(意図の達成度を表す指標) (単位) ア: 目標・目的を持って、実際に生涯学習を行なっている人の割合 %
*③成果指標設定の理由と29年度目標値設定の根拠		総トータルコスト
施設管理上の不具合が少なければ、それだけ環境が整備された施設を提供できたことになるから		全体計画 ~ 年度 0

(2) 各指標・総事業費の推移		単位	26年度実績(決算)	27年度実績(決算)	28年度目標(当初予算)	28年度実績(決算)	29年度目標(当初予算)	30年度予定	31年度見込	32年度見込
① 活動指標	ア	円	39,223,176	39,245,077	71,207,000	35,159,302	60,000,000	60,000,000	60,000,000	60,000,000
② 対象指標	ア	人	5,836.88	159,317	8,000	101,101	9,000	10,000	11,000	12,000
③ 成果指標	ア	%	30.2	31	35	30.6	37.3	39.7	42	44
投資入費量	財源内訳	国庫支出金	千円							
		都道府県支出金	千円							
		地方債	千円					25,600		
		その他	千円	6,682	8,167	7,598	6,856	8,015		
		繰入金	千円							
	人件費	一般財源	千円	44,567	39,441	63,609	94,846	46,056	50,000	50,000
		(A) 事業費計	千円	51,249	47,608	71,207	101,702	79,671	50,000	50,000
		(A)のうち指定経費	千円	9,418	10,403	12,686	12,595	15,773	0	0
		(A)のうち時間外、特勤	千円	0	0	0	0	0	0	0
		正規職員従事人数	人	3	1	3	2	3	3	3
延べ業務時間	時間	2,050	1,100	1,100	1,600	1,100	1,100	1,100		
(B) 人件費計	千円	8,167	4,084	4,382	0	4,382	4,382	4,382		
トータルコスト(A)+(B)	千円	59,416	51,692	75,589	101,702	84,053	54,382	54,382		

事務事業名	市民センター維持管理事業	所属部	教育委員会事務局教育部	所属課	生涯学習課
-------	--------------	-----	-------------	-----	-------

## 2 評価の部 (CHECK)

\*原則は28年度の事後評価、ただし複数年度事業は28年度実績を踏まえての途中評価

目標達成度評価	①28年度目標達成度評価	<input checked="" type="checkbox"/> 達成した 例年に比べ大きな不具合等は少なかったが、施設の劣化に伴い今後様々な不具合が予想される。	<input type="checkbox"/> 達成しなかった ⇒【理由】
	②29年度目標達成見込み	<input type="checkbox"/> 目標達成見込みあり⇒【理由】 経年劣化により躯体が古くなり施設上の不測のトラブルが起きやすい状態だから	<input checked="" type="checkbox"/> 目標達成は厳しい ⇒【理由と対策】
有効性評価	③成果の向上余地	<input type="checkbox"/> 向上余地がある ⇒【理由】 外装のクラックなどが目立ってきていて、屋上の防水シートも塗料が剥げガラス繊維が露出している。この状態が更に進むとコンクリートに水分が浸透し、中の鉄筋を腐食させるおそれがあるので、大規模な外装改修工事が必要である。黒石・野々島については建物全体の劣化が激しく、耐震強度もないため建て替えが必要である。	<input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がない ⇒【理由】
	④類似事業との統廃合・連携の可能性	<input checked="" type="checkbox"/> 他に手段がある (具体的な手段、事務事業) <input checked="" type="checkbox"/> 統廃合・連携ができる ⇒【理由】 <input type="checkbox"/> 統廃合・連携ができない ⇒【理由】 類似施設は他にもあるため、一括した管理を行うことができる。	<input type="checkbox"/> 他に手段がない ⇒【理由】
効率性評価	⑤事業費の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 物件費の内訳は、施設管理委託料や各公共料金、修繕費であり、光熱水費に関しては、利用者の協力により儉約に努めている。必要最小限の計上をしているので、これ以上の削減は難しいと思われる。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
	⑥人件費 (延べ業務時間) の削減余地	<input type="checkbox"/> 削減余地がある ⇒【理由】 夜間、土日・祝日は管理人を配置して必要最小限の管理を行っており、その報酬を低く抑えているため、削減は難しい。	<input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない ⇒【理由】
公平性評価	⑦受益機会・費用負担の適正化余地	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 施設利用の市民には、受益者負担の原則に従い、施設の維持管理の一端を担っていただくため、施設利用料及び冷暖房使用料の負担をいただいております、利用者による適正な施設の維持管理に貢献している。	<input checked="" type="checkbox"/> 公平・公正である ⇒【理由】
役割分担評価	⑧行政の役割分担の適正化	<input type="checkbox"/> 見直し余地がある ⇒【理由】 御代志市民センターは市有施設なので住民への移行はできない。	<input checked="" type="checkbox"/> 役割分担は適正である ⇒【理由】

## 3 評価結果の総括 (CHECK)

屋上防水シートが劣化しているため改修の必要がある。講堂ステージ入口のスロープが急すぎるため改修の必要がある。建設当初に導入した設備をそのまま使用しており、故障した場合、製造が終了しているものが多く修繕ができない場合があるので設備更新を行う必要がある。

## 4 今後の方向性 (事務事業担当課案) (ACTION)

(1) 今後の事業の方向性 (改革改善案) ・ ・ ・ 複数選択可

- 廃止 休止 目的再設定 事業統廃合・連携 事業のやり方改善 (有効性改善)  
事業のやり方改善 (効率性改善) 事業のやり方改善 (公平性改善)  
現状維持 (従来通りで特に改革改善をしない)

(2) 改革・改善による期待成果  
(廃止・休止の場合は記入不要)

		コスト		
		削減	維持	増加
成果	向上			
	維持			
	低下			

(3) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題 (壁) とその解決策